

山行報告書

神戸勤労者山岳会

- 1 参加者 CL大川、SL井谷、SL西、松本、桐原、坂口、義間、矢古宇
以上8名
- 2 山城・ルート 白山系 野伏ヶ岳、薙刀山ラウト（白山中居神社～ダイル外尾根～野伏ヶ岳
～薙刀山～日岸山 ラウト）

3 交通手段 電車 **車** バス

4 行動記録

入山日 2016年3月26日 山中1泊

- ・3月25日（金） 21:00 神戸出発→翌26日1時「道の駅白鳥」テント泊まり 仮眠
- ・3月26日（土） 5:30 起床→6:00 「道の駅白鳥」発→6:30 白山中居神社 7:00 出発→
ダイル外尾根→11:00 野伏ヶ岳→13時薙刀山→テント設営→14:30 日岸山
1669地点→15:00 よも太郎山とのコルの手前→16:00 薙刀山テント場（行動
時間9時間）
- ・3月27日（日） 3:30 起床 5:50 出発→薙刀山と野伏ヶ岳の最低コル→尾根、沢をトラバース→
野伏ヶ岳北東稜末端→9:10 牧場跡地→10:00 白山中居神社（行動時間4
時間10分）入浴後帰神

5 山行中の問題点・事故に繋がる要因

a 山行は予定の内容・日程で行動出来たか

- ・3月26日日岸山でテント設営予定であったが、メンバーの疲労あったこと、27日午後から天気が崩れる予定で、願教寺山まで行くと10時間行動になり、雨に降られる可能性が高かったこと考え、薙刀山にテント設営し、荷物を軽くし、行けるところまで行き、引き換えした。
- ・3月27日は往路を引き返さず、薙刀山と野伏ヶ岳のコルからトラバースルートで下山した。

b 事故に繋がりそうな要因（ヒヤリハット）が発生したか 発生した場合は具体的に記す

- ・3月27日、2班別々のルートを取ったため、途中連絡が取れなくなった。最終的には牧場跡地で合流できた。
- ・Mさんの登山靴が、経年劣化（購入して5年程度）のため靴先の底が剥がれた。テープで補修して登山を続行できた。

C 山行の問題点、今回の教訓

- ・参加人数が多くテントが分かれる場合のコミュニケーションを取る事の難しさを感じた。
対策としては、スタート前にミーティングをすること、山行の目的について事前にメンバーで意思統一することが必要と思う。
- ・今回の山行は普段一緒に行かない色々なメンバーが集まり、交流できた事に大きな意義がありました。参加メンバーの皆様、ありがとうございました。
- ・この時期の野伏ヶ岳は人気ルートで、たくさんの登山者で賑わっていました。白山系、奥美濃、御岳、中央アルプス、北アルプスが見渡せる、すばらしいルートでした。

報告者氏名 大川 肇

平成27年3月31日

